

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

アジア経済概況（2006 年 12 月）

【目次】

I．中華圏・韓国

- 1．中国経済の概況…引き締め政策により投資は一段と鈍化 … p.1
- 2．中国の主要指標解説：輸出入両面で世界経済を牽引する中国 … p.3
- 3．台湾経済の概況…輸出主導の緩やかな景気回復が続く … p.4
- 4．韓国経済の概況…輸出の堅調を背景に緩やか景気拡大が続く … p.5

II．ASEAN・インド

- 1．タイ経済の概況…洪水の影響で7～9月期は4.7%成長に鈍化 … p.6
- 2．インドネシア経済の概況…物価・金利低下で景気も徐々に回復 … p.7
- 3．マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 … p.8
- 4．インド経済の概況…製造業の好調から7～9月期は9.2%成長 … p.9
- 5．ASEAN経済の注目点：ベトナム経済の基礎知識③ … p.10

III．アジア通貨・株価動向 … p.11



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

調査部

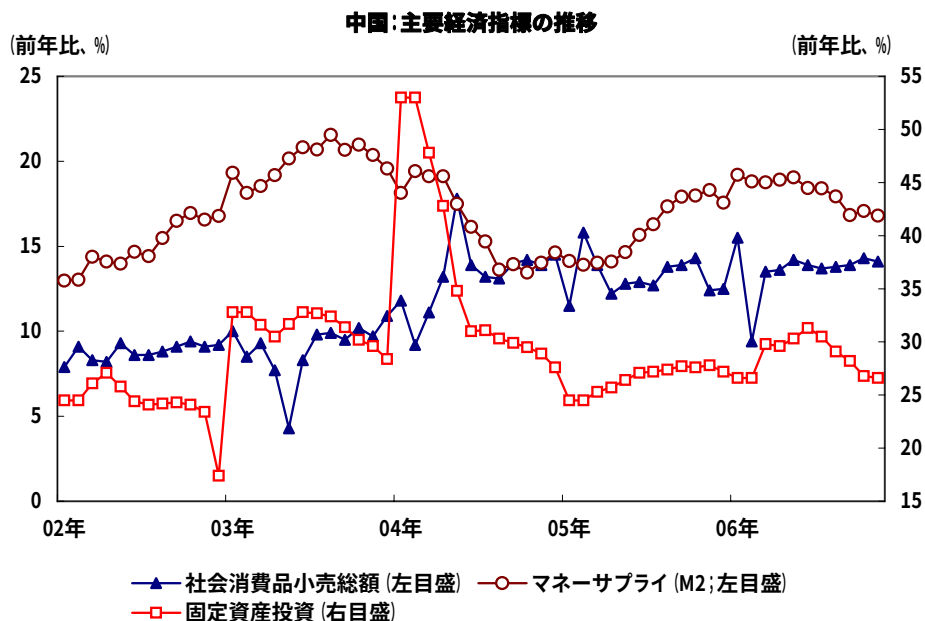
【お問い合わせ先】海外経済班

野田 (Email: mariko.noda@murc.jp)

I. 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 輸出・投資主導で景気の拡大が続いているが、政府の引き締め政策の効果も徐々に現れてきた。1～11月期の固定資産投資（都市部）の伸び率は前年同期比 26.6%増と直近ピークの 1～6月期（同 31.3%増）から 4.7%ポイント鈍化した。また、10月に前年同月比 17.1%増とやや上振れたマネーサプライ（M2）も 11月には同 16.8%増と直近ピーク（5月；同 19.1%増）比 2.3%ポイント低下している。
- ・ 一方、11月の輸出は前年同月比 32.7%増と依然として好調である。これに対して輸入は引き締め政策の影響から 11月も同 18.2%増にとどまっており、11月の貿易収支は 229 億ドルと前月（238 億ドル）並みの大幅な黒字が続いている。こうした輸出の好調を受けて 11月の鉱工業生産（付加価値額）は前年同月比 14.9%増と前月（同 14.7%増）からやや持ち直しており、引き締め政策の影響を受けつつも底堅く推移している。また消費も堅調に推移しており、11月の社会消費品小売総額は前年同月比 14.1%増と前月（同 14.3%増）に続き前年比 14%台の伸び率となった。
- ・ 他方、11月の消費者物価上昇率は食品価格の上昇から前年同月比 1.9%に加速。景気拡大が続く中でインフレ圧力増大への警戒感が強まっている。なお報道によれば、国家発展改革委員会の馬凱主任は足元の成長テンポはまだ速すぎるとの認識を示し、景気の過熱抑制のためマクロコントロールを継続することを示唆したという。また 12月5日から7日まで開かれた中央経済工作会议では来年の経済成長目標が 8%前後に設定された模様である。



(注) 固定資産は年初からの累計の前年比、04年以降は都市部・投資額50万元以上のみ。
 (出所) CEIC 他

【中国・香港の主要経済指標】

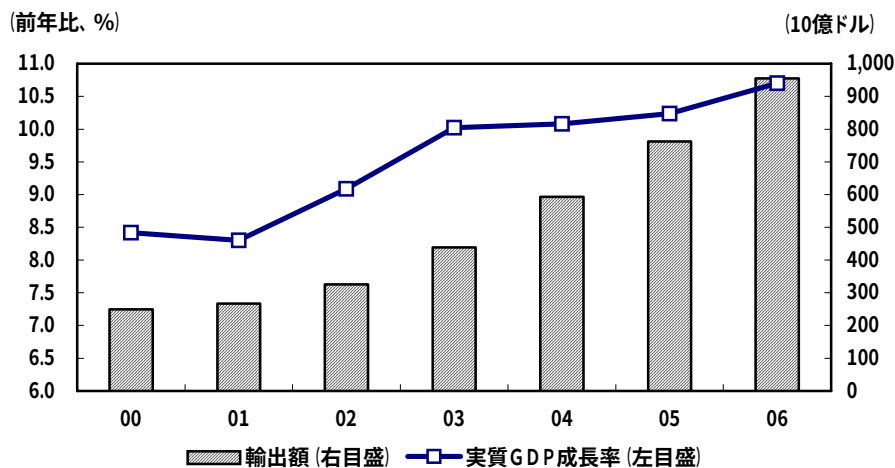
			2003年	2004年	2005年	05/4Q	06/1Q	06/2Q	06/3Q	06/8月	06/9月	06/10月	06/11月
中国	GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年比%			9.9	10.3	11.3	10.4				
		名目GDP成長率 (累計ベース)	前年比%			10.2	10.3	10.9	10.7				
						12.9	17.7	14.5	14.3				
	消費	社会消費品小売総額	前年比%			9.0	13.3	13.3	13.1	12.8	13.9	13.8	14.1
		うち市	前年比%			14.9	20.6	20.6	15.3	13.5	14.6	14.3	17.3
		うち県	前年比%			12.7	18.6	17.3	12.8	11.5	13.8	13.6	14.2
		うち県以下	前年比%			9.2	12.8	17.2	12.0	11.6	11.8	12.4	13.1
		自動車販売台数	前年比%			33.5	16.9	13.8	20.8	36.7	18.3	20.9	25.4
		うち乗用車	前年比%			71.5	19.3	21.5	35.8	66.6	32.6	28.6	30.9
		消費者自信指数	期中平均			93.1	92.9	94.2	93.9	94.1	93.9	94.7	95.6
		消費者期待指数	期中平均			92.4	91.7	95.1	95.4	96.1	96.5	97.4	98.3
	投資	固定資産投資 (都市部・50万円以上; 累計ベース)	前年比%			28.4	27.6	27.2	27.2	29.8	31.3	28.2	26.6
		うち不動産・居住用建物	前年比%			29.7	25.3	19.6	19.6	26.3	31.4	32.7	31.3
		うち国内企業	前年比%						28.5	31.2	32.4	29.1	27.2
		うち製造業	前年比%						38.6	36.3	38.6	33.8	30.5
		うち鉄鋼	前年比%						27.5	▲ 2.2	2.3	▲ 0.9	▲ 1.2
		うち輸送機械	前年比%						51.1	43.8	44.5	37.8	29.1
		うち電気機械	前年比%						44.9	69.5	68.2	57.0	53.2
		うち情報通信機器	前年比%						18.2	33.7	38.7	40.7	37.9
		直接投資契約額 (累計ベース)	前年比%			39.0	33.4	23.2	23.2	n.a.	2.7	1.9	0.2
		直接投資実行額 (累計ベース)	前年比%			1.4	13.3	19.4	19.4	6.4	▲ 0.5	▲ 1.5	2.1
	貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	10億ドル			25.4	32.8	102.1	33.6	23.1	38.0	48.7	22.9
		輸出 (ドルベース)	前年比%			34.6	35.4	28.4	21.7	26.5	24.0	28.7	32.7
		輸入 (ドルベース)	前年比%			39.9	35.8	17.7	22.1	24.9	18.5	22.0	18.2
		対米貿易収支	10億ドル			58.6	80.3	114.2	33.0	28.6	33.7	39.9	14.6
		対日貿易収支	10億ドル			▲ 14.8	▲ 20.7	▲ 16.4	▲ 5.4	▲ 4.0	▲ 5.8	▲ 7.8	▲ 1.9
		外貨準備	期末10億ドル			403.3	609.9	818.9	818.9	875.1	941.1	987.9	1009.6
	生産	鉱工業付加価値額	前年比%			16.7	16.3	15.9	16.4	15.9	18.0	16.2	14.9
		うち国有企業	前年比%			14.1	13.7	10.7	9.6	8.8	13.3	12.4	13.6
		うち株式企業	前年比%			18.0	16.6	17.3	16.9	16.3	19.3	17.5	16.1
		うち外商・港台澳企業	前年比%			19.6	18.5	15.8	17.6	18.5	18.5	15.6	14.7
		在庫額	前年比%			10.1	20.2	21.0	21.0	20.9	8.3	3.0	18.3
		うち鉱物	前年比%			▲ 2.8	20.8	42.4	45.0	43.7	22.9	9.9	29.6
		うち素材	前年比%			8.6	25.4	27.1	27.8	22.9	9.2	3.6	18.8
		うち機械	前年比%			17.9	19.5	16.7	15.5	16.1	5.6	2.1	16.4
		発電量	前年比%			14.2	15.0	13.4	11.8	13.4	13.2	16.5	15.7
	所得 雇用	都市一人当たり所得	前年比%			12.0	11.8	11.8	10.8	12.4	11.2	11.2	14.7
		鉱工業雇用者数	前年比%			11.9	7.2	8.8	10.6	10.1	5.0	2.5	7.4
		労働力市場求人倍率	期末			0.88	0.94	0.96	0.96	0.96	0.96		
		製造業/全産業求人比率	期末%			31.6	31.9	30.8	30.8	36.6	31.5	32.6	
	物価	消費者物価指数	前年比%			1.2	3.9	1.8	1.4	1.2	1.4	1.3	1.9
		うち食品	前年比%			3.4	10.0	2.9	1.7	1.9	1.9	1.5	3.7
		うち家庭設備・家庭用品	前年比%			▲ 2.6	▲ 1.4	▲ 0.1	0.5	0.6	0.9	1.5	1.8
		生産者物価指数	前年比%			2.3	6.1	4.9	3.5	2.9	2.6	3.5	2.8
	金融	マネーサプライ (M2)	前年比%			19.6	14.9	16.3	18.0	18.9	18.8	17.7	16.8
		インターバンク金利 (翌日物)	期中平均%			2.17	2.10	1.43	1.34	1.46	1.59	2.14	2.85
		株価指数 (上海総合)	期末			1,497	1,267	1,161	1,161	1,298	1,672	1,752	2,099
		為替レート (元/ドル)	期中平均			8.28	8.28	8.19	8.08	8.05	8.01	7.97	7.86
		為替レート (円/元)	期中平均			14.0	13.1	13.4	14.5	14.5	14.3	14.6	14.9
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%			3.2	8.6	7.3	7.5	8.0	5.5	6.8	
		うち民間消費	前年比%			▲ 0.9	7.3	3.4	3.4	4.5	5.1	4.4	
		うち固定資本形成	前年比%			0.9	3.0	4.1	8.4	7.6	5.0	12.7	
		名目GDP成長率	前年比%			▲ 3.4	4.7	7.0	8.2	7.9	5.4	6.6	
	消費	小売販売数量指数	前年比%			0.4	8.1	6.1	5.1	5.0	5.4	6.1	5.4
		不動産価格指数	前年比%			▲ 12.0	26.7	18.0	8.1	1.8	▲ 1.4	▲ 1.3	0.2
		うち家屋160㎡超 (香港島)	前年比%			▲ 0.2	44.9	21.5	7.1	15.5	▲ 6.3	15.3	12.9
	貿易	不動産販売取引件数 (香港域内)	前年比%			▲ 2.8	40.6	2.7	▲ 31.7	▲ 28.7	▲ 41.6	1.6	25.9
		貿易収支	10億HKドル			▲ 66.5	▲ 93.7	▲ 81.4	▲ 17.4	▲ 36.9	▲ 42.8	▲ 26.3	3.1
		輸出 (香港ドルベース)	前年比%			11.6	15.8	11.4	10.0	12.2	5.2	8.4	7.9
	物価	輸入 (香港ドルベース)	前年比%			11.6	16.8	10.3	11.3	13.7	7.8	10.6	11.2
		消費者物価指数	前年比%			▲ 2.6	▲ 0.4	1.1	1.8	2.0	2.7	3.0	2.5
	金融	マネーサプライ (M3)	期末%			8.3	8.6	5.2	5.2	8.6	11.3	14.4	13.9
		ハンセン指数	期末%			12,576	14,230	14,876	14,876	15,805	16,268	17,543	18,960

(出所) CEIC 他 (注) 不動産景気指数は05年より基準が改訂され、それ以前とは不連続。

2. 中国の主要指標解説：輸出入両面で世界経済を牽引する中国

- 中国が2001年12月にWTOに加盟してから丸5年が経過した。01年当時はWTO加盟のメリット・デメリット双方の影響が議論されていたが、これまでのところ、総じて見れば中国経済にとってメリットの方が大きかったようである。実際、輸出環境の改善を背景に海外からの直接投資が拡大する中で、国内企業の投資も増加。米国経済の好調を背景に世界景気の拡大が続く中で拡大した生産力をテコに輸出が順調に増加し、高成長が続いている（図表1）。

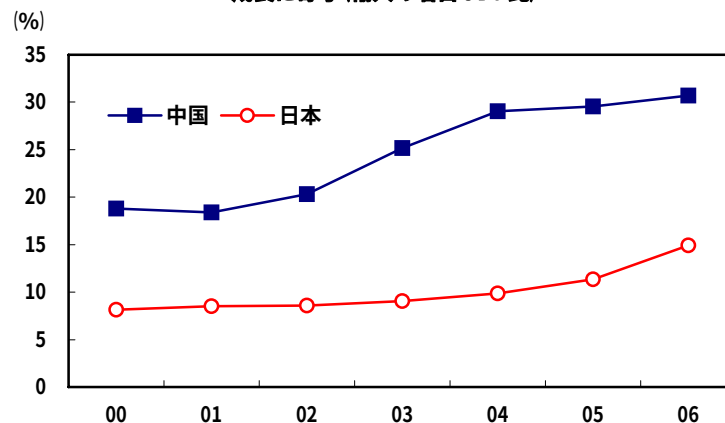
図表1. WTO加盟後大幅に拡大した輸出を背景に高成長が続く



(出所) CEIC (注) 06年の成長率は1-9月期、輸出は1-11月実績の年率換算値。

- 同時に中国市場の対外開放も着実に進展している。輸出に比べれば拡大テンポは遅いものの、名目GDP比でみた輸入のシェアは足元31%にまで拡大。日本の同比率が10%台で低迷するのとは対照的に、中国は近隣アジア諸国をはじめとする世界の輸出の需要者としても世界経済の牽引役の一端を担っていると言えよう（図表2）。

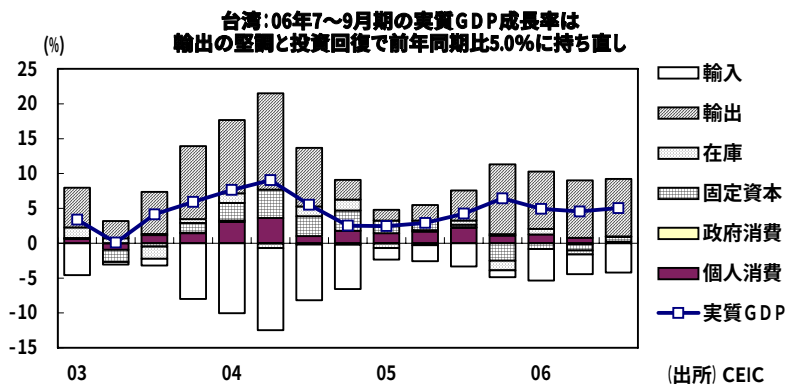
図表2. 中国：輸入も大幅に拡大し近隣アジア諸国等の成長に寄与（輸入の名目GDP比）



(出所) CEIC、IMF (注) 06年は実績値に基づく試算値。

3. 台湾経済の概況

- ・ 輸出主導の緩やかな景気回復が続いている。7～9 月期の実質 GDP 成長率は、堅調な輸出に牽引され前年同期比 5.0%と 4～6 月期（同 4.6%）から加速した。消費は雇用改善や株価上昇などの支援材料にもかかわらず、クレジット債務問題の影響から低迷が続いている。一方、投資は不動産市場の回復を背景に建設投資が拡大するなど民間部門を中心に持ち直している。
- ・ 11 月の輸出はエレクトロニクス製品、鉄鋼、光学機器を中心に前年同月比 8.2% 増となった。伸び率が一桁台にとどまっているのは前年同月の水準が高いためで輸出金額は今月初めて総輸出の 4 割を越えた中国・香港向けを中心に高水準で推移している。
- ・ 12 月 9 日に 2008 年の総統選挙の前哨戦となる台北・高雄両市の市長選が行なわれた。高雄は民進党、台北は国民党が勝利したが、いずれも接戦であったことから陳水扁・民進党政権の退潮に一定の歯止めがかかったと見られている。



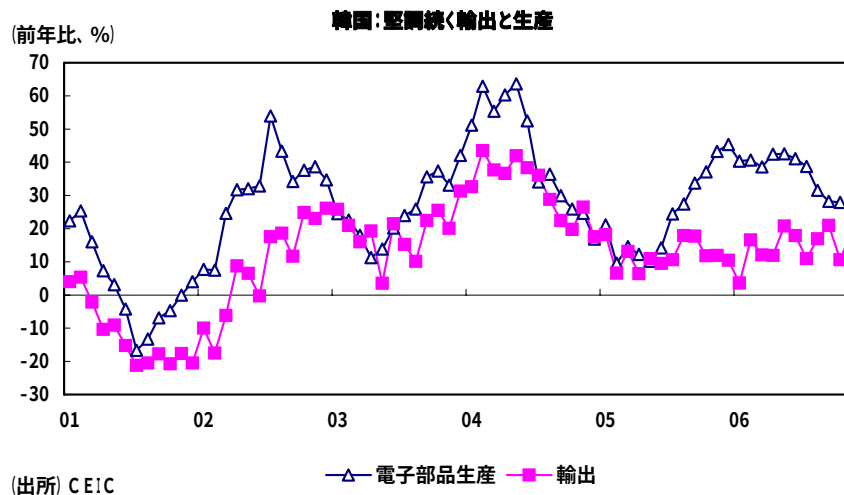
台湾の主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/4Q	06/1Q	2Q	3Q	06/8月	06/9月	06/10月	06/11月
GDP (yoy)	実質GDP	3.4	6.1	4.0	6.4	4.9	4.6	5.0				
	うち民間消費	0.9	3.9	2.7	2.0	2.0	1.4	0.4				
	うち総固定資本形成	▲ 0.9	17.5	1.2	▲ 10.9	▲ 4.8	▲ 4.2	3.5				
	(うち民間企業)	▲ 0.3	31.0	▲ 0.2	▲ 16.7	▲ 5.0	▲ 2.8	5.6				
生産	鉱工業生産(yoy)	7.1	9.8	4.1	9.1	8.3	6.9	4.7	4.7	2.3	1.1	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支 (10億 ^{ドル})	763.0	440.6	497.3	266.5	106.9	133.9	186.2	38.0	91.3	76.2	78.2
	輸出(yoy)	11.3	21.1	8.8	14.2	11.9	13.9	18.6	16.6	18.1	5.6	8.2
	輸出受注 (yoy)	12.6	26.5	19.2	23.4	21.2	21.6	16.4	18.3	12.0	10.9	
	輸入(yoy)	13.0	31.8	8.2	1.0	9.3	9.7	15.1	17.0	10.8	6.1	7.9
	経常収支 (10億 ^{ドル})	29.3	18.5	16.1	9.1	5.8	4.9	6.4				
雇用	失業率 (季節調整済み)	5.0	4.4	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	
	物価											
金融	消費者物価(yoy)	▲ 0.3	1.6	2.3	2.5	1.3	1.5	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 1.2	▲ 1.2	0.2
	M2-サプライ (M2,yoy)	5.8	7.4	6.6	6.6	6.1	5.7	5.9	5.7	5.9	6.0	
	株価指数 (加権指数)	5,891	6,140	6,548	6,548	6,614	6,704	6,883	6,612	6,883	7,021	7,568
	短期金利 (オーバーナイト)	1.12	1.04	1.30	1.39	1.45	1.52	1.59	1.59	1.60	1.66	1.66
	為替レート (NT ^{ドル} / ^{ドル})	34.4	33.4	32.2	33.5	32.3	32.2	32.8	32.8	32.9	33.2	32.8
	為替レート (円/NT ^{ドル})	3.37	3.24	3.42	3.50	3.62	3.56	3.55	3.54	3.56	3.57	3.57

(出所) CEIC (注) yoy=前年比 (%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 輸出の堅調を背景に緩やかな景気拡大が続いている。11月の輸出は前年同月比18.7%増の306.6億ドルと単月で初めて300億ドル台に乗った。船舶（速報ベース；同89.3%増）、半導体（同49.6%増）、液晶パネル（同27.7%増）、鉄鋼（同37.7%増）を中心に、中国（同19.9%増）やEU（同15.1%増）向けが好調である。
- ・ こうした輸出の好調を背景に生産も底堅く推移している。10月の生産は旧盆の連休（昨年は9月）の影響で前年同月比4.6%増と一桁台に低下したが、9～10月平均で見れば前年同期比10.3%増と堅調な拡大が続いている。
- ・ 中銀金融政策委員会は12月7日、消費者物価は安定的に推移しており、不動産価格の上昇テンポも鈍化しているとして政策金利の据え置き(4.50%)を決めた。



韓国の主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/4Q	06/1Q	2Q	3Q	06/8月	06/9月	06/10月	06/11月
GDP (yoy)	実質GDP	3.1	4.7	4.0	5.3	6.0	5.4	4.8				
	うち民間消費支出	▲1.2	▲0.3	3.2	4.1	4.9	4.4	4.0				
	うち固定資本形成	4.0	2.1	2.3	4.7	3.8	0.8	4.0				
	うち設備	▲1.2	3.8	5.1	10.0	7.1	7.2	10.1				
生産	鉱工業生産(yoy)	5.3	10.2	6.2	10.4	12.1	11.0	10.6	10.9	16.5	4.6	
消費	小売売上高(数量,yoy)	▲1.8	▲0.7	3.6	6.0	3.5	5.2	3.4	5.6	1.5	4.0	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億 ^{ドル})	15.0	29.4	23.2	6.1	1.4	4.9	2.4	0.3	1.9	2.4	3.9
	輸出(yoy)	19.3	31.0	12.0	11.4	10.6	16.9	16.4	16.9	21.0	10.7	18.7
	輸入(yoy)	17.6	25.5	16.4	14.6	19.6	20.3	21.2	22.9	22.0	13.2	12.2
	経常収支(10億 ^{ドル})	11.9	28.2	16.6	5.4	▲1.1	0.7	0.4	▲0.6	1.4	1.7	
	外貨準備高(10億 ^{ドル})	155	199	210	210	217	224	228	227	228	229	234
雇用	失業率(季節調整済み)	3.4	3.5	3.5	3.3	3.7	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0
物価	消費者物価(yoy)	3.5	3.6	2.8	2.5	2.4	2.3	2.5	2.9	2.4	2.1	2.2
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	3.0	5.9	7.0	7.0	6.6	7.7	8.9	7.5	8.9	10.1	
	株価指数(総合)	811	896	1,379	1,379	1,360	1,295	1,371	1,353	1,371	1,365	1,432
	為替レート(ウォン/ ^{ドル})	1,192	1,140	1,023	1,031	972	951	953	960	945	944	930
	為替レート(円/100ウォン)	9.6	9.5	10.8	11.4	12.1	12.0	12.2	12.2	12.5	12.4	12.2
	CDレート(3ヵ月物)	4.31	3.79	3.65	3.98	4.22	4.39	4.65	4.68	4.64	4.57	4.60

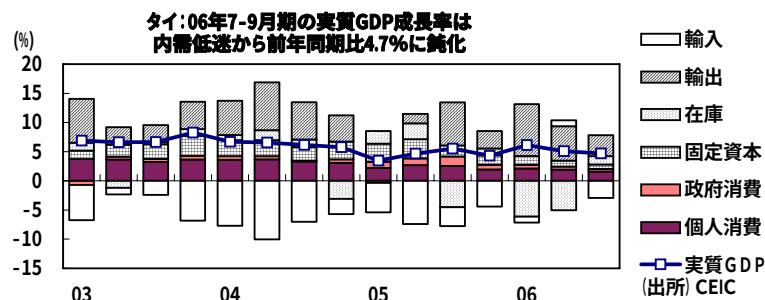
(出所) CEIC

(注) yoy=前年比(%)

II. ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・ 8月以降の洪水の影響が消費・投資に及ぶ中で、景気の拡大テンポが鈍化している。7～9月期の実質GDP成長率は、輸出の堅調持続にもかかわらず原油高、政局混迷、洪水の影響から消費と投資が伸び悩み、前年同期比4.7%に鈍化した。
- ・ 10月に入っても洪水の影響でオートバイの販売低迷が続いているほかセメントの販売量も前年比割れになるなど内需の低迷が続いている。しかし、暫定政権成立で政局の不透明感が一旦、払拭されたこともあり、今後洪水の被害が終息する中で、内需の持ち直しが期待されている。一方、輸出はハイテク製品を中心に10月も前年同月比20.1%増と堅調に推移しており、貿易収支は3カ月連続で黒字となった。
- ・ タイ中銀は12月13日、①景気は十分なペースで拡大が続いており、②洪水の影響で野菜の価格が高騰しているものの、コアのインフレ率は安定している、との判断から政策金利（14日物レポ金利）の5.00%据え置きを決めた。



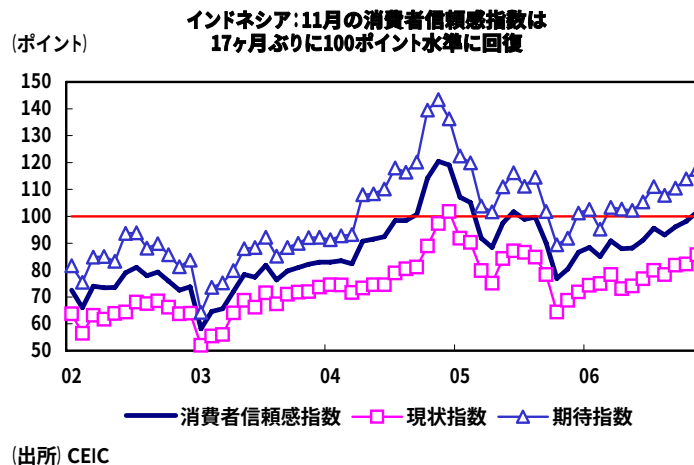
タイの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/4Q	06/1Q	2Q	3Q	06/8月	06/9月	06/10月	06/11月
GDP (yoy)	実質GDP	7.1	6.3	4.5	4.3	6.1	5.0	4.7				
	民間消費	6.5	6.2	4.3	3.7	3.9	3.3	2.9				
	総固定資本形成	12.1	13.2	11.1	7.5	6.6	4.0	3.2				
生産	製造業生産指数(yoy)	14.0	11.7	9.1	7.2	9.7	6.6	6.5	8.0	5.3	5.5	
消費	総合消費指数(yoy)	5.4	4.0	0.6	0.9	1.2	0.8	2.0	1.3	2.0	1.3	
投資	民間企業投資指数(yoy)	13.6	11.6	7.8	4.3	4.0	1.0	1.9	1.0	1.5	1.0	
輸出入	貿易収支 (10億 ^{ドル})	5.0	2.5	▲ 7.2	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 1.6	1.7	0.3	1.5	0.8	
	輸出(yoy)	17.4	20.6	14.9	11.3	17.1	16.1	16.1	16.4	15.3	20.1	
	輸入(yoy)	16.8	25.3	25.7	20.1	6.7	3.3	13.4	13.4	9.0	9.6	
国際収支	経常収支 (10億 ^{ドル})	4.8	2.8	▲ 7.9	▲ 0.1	0.6	▲ 2.2	1.2	0.5	0.8	0.9	
	外貨準備高 (10億 ^{ドル})	42.1	49.8	52.1	52.1	55.3	58.1	61.6	59.4	61.6	62.3	64.5
雇用	失業率 (季調前)	2.2	2.1	1.9	1.5	1.9	1.7	1.2	1.4	1.2	1.7	
物価	消費者物価 (総合,yoy)	1.8	2.8	4.5	6.0	5.7	6.0	3.6	3.8	2.7	2.8	3.5
	消費者物価 (コア,yoy)	0.1	0.4	1.6	2.4	2.6	2.8	2.0	1.9	1.9	1.8	1.7
金融	M2-M1 (M2,yoy)	4.9	5.4	8.2	8.2	11.8	11.4	8.4	9.7	8.4	8.6	
	商銀貸出残高(yoy)	3.6	6.7	8.1	8.1	7.8	8.6	5.7	5.9	5.7	4.7	
	不良債権比率(3M基準,%)	12.7	10.7	8.2	8.2	8.0	8.2	8.2				
	株価指数 (SET)	772	668	714	714	733	678	686	691	686	722	739
	為替レート (円/US\$)	41.5	40.2	40.2	41.0	39.3	38.1	37.6	37.6	37.4	37.3	36.5
	為替レート (円/ユーロ)	2.8	2.7	2.7	2.9	3.0	3.0	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2
	インターバンク金利 (3M)	1.56	1.62	3.28	4.37	4.82	5.32	5.40	5.40	5.40	5.25	5.25

(出所) CEIC (注) yoy=前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ インフレ沈静化と金利低下を背景とした内需の持ち直しから景気も緩やかに回復に向かっている。10月は断食明けの大祭の連休（昨年は11月）で営業日数が少なかったため、家電販売などの各指標はいずれも前年同月比大幅減となった。しかし、11月の消費者信頼感指数が101.6と昨年6月以来17ヶ月ぶりに楽観と悲観が同率である100ポイント水準を上回るなど景気の回復傾向は続いている。実際、自動車並びに二輪車販売、投資の動向を反映するセメント消費量などは、いずれも10月の落ち込みから一転、11月には大幅増加となっている。
- ・ 11月の消費者物価上昇率は前年同月比5.3%と昨年10月の燃料費引上げの影響が一巡した先月に続き、一桁台に落ち着いている。こうした中でインドネシア中銀は12月7日に今年7回目となる政策金利の引下げ（10.25%→9.75%）を決めた。



インドネシアの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/4Q	06/1Q	2Q	3Q	06/8月	06/9月	06/10月	06/11月
GDP (yoy)	実質GDP	4.8	5.1	5.6	4.9	4.8	5.1	5.5				
	民間消費支出	3.9	5.0	4.0	4.2	2.9	3.0	3.0				
	総固定資本形成	0.6	14.6	9.9	1.8	1.5	1.2	▲ 0.3				
生産	製造業生産(yoy)	5.5	3.3	1.3	▲ 4.5	▲ 7.7	▲ 2.3					
消費	小売売上(yoy)	7.0	7.3	16.0	0.8	▲ 21.1	▲ 13.9	4.6	▲ 2.5	14.2		
輸出入	貿易収支 (10億 ^{ドル})	28.5	25.1	28.0	9.1	9.1	8.9	9.8	3.2	3.1	4.2	
	輸出(yoy)	6.8	17.2	19.7	13.9	12.9	17.2	21.1	22.5	16.8	9.6	
	(除く石油ガス,yoy)	5.2	18.0	18.8	10.7	11.4	17.2	25.1	28.9	23.9	16.3	
	輸入(yoy)	4.0	42.9	24.0	6.3	▲ 1.9	4.8	9.0	3.9	15.0	▲ 7.6	
国際収支	経常収支 (10億 ^{ドル})	n.a.	1.6	0.3	0.8	1.6	0.6	4.0				
	外貨準備高 (10億 ^{ドル})	36.3	36.3	34.7	34.7	40.1	40.1	42.4	42.0	42.4	39.9	
物価	消費者物価(yoy)	6.8	6.1	10.5	17.8	16.9	15.5	14.9	14.9	14.5	6.3	5.3
金融	マネーサプライ (M2,yoy)	8.1	8.1	16.4	16.4	17.1	16.8	12.3	13.8	12.3	13.7	
	株価指数(総合)	692	1,000	1,163	1,163	1,323	1,310	1,535	1,431	1,535	1,583	1,719
	為替レート (ルピア/ドル)	8,571	8,985	9,751	9,985	9,233	9,098	9,135	9,100	9,235	9,110	9,165
	為替レート (円/100ルピア)	1.35	1.20	1.13	1.17	1.27	1.26	1.27	1.27	1.27	1.30	1.28
	中銀債金利 (3ヵ月)	10.17	7.39	9.16	12.58	12.86	12.35	11.63	11.36	11.36	11.36	9.50

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%)、04年5月以降、国際収支の集計方法が一部変更され、それ以前とは不連続。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/4Q	06/1Q	2Q	3Q	06/8月	06/9月	06/10月	06/11月
GDP (yoy)	実質GDP	5.5	7.2	5.2	5.2	5.9	6.2	5.8				
	民間消費	6.6	10.5	9.2	9.0	7.5	7.3	6.8				
	総固定資本形成	2.7	3.1	4.7	0.4	11.4	7.6	3.5				
生産	鉱工業生産(yoy)	9.3	11.3	4.1	5.5	5.8	6.1	4.8	4.9	3.0	▲ 0.8	
輸出入	貿易収支 (10億 ^{ドル})	21.4	21.2	26.4	7.6	6.9	6.3	7.9	2.7	2.7	2.6	
	輸出(yoy)	11.6	20.5	11.4	13.3	13.7	14.1	17.0	14.7	11.4	▲ 3.4	
	輸入(yoy)	4.8	25.9	8.9	8.1	16.0	16.2	14.5	17.7	7.0	▲ 1.4	
国際収支	経常収支 (10億 ^{ドル})	13.3	14.9	20.0	16.9	19.8	18.9					
	外貨準備高 (10億 ^{ドル})	45	67	70	70	74	79	80	80	80	80	
雇用	失業率(%)	3.6	3.6	3.6	3.8	3.8	3.4					
物価	消費者物価(yoy)	1.1	1.4	3.1	3.4	3.8	4.1	3.6	3.3	3.3	3.1	
金融	マネーサプライ (M2,yoy)	11.1	25.4	15.4	15.4	15.2	11.2	12.2	12.8	12.2	13.2	
	貸出残高(yoy)	5.2	26.0	17.5	17.5	22.2	13.7	12.6	13.8	12.6	12.1	
	不良債権比率(3M基準,%)	8.9	7.5	5.8	5.8	5.7	5.4	5.1	5.3	5.1	5.1	
	株価指数(総合)	794	907	900	900	927	915	968	958	968	988	1081
	為替レート (リンギ/\$)	3.80	3.80	3.79	3.78	3.73	3.65	3.67	3.68	3.67	3.68	3.64
	為替レート (円/リンギ)	30.5	28.5	29.1	31.0	31.4	31.4	31.7	31.5	31.9	32.2	32.2
	インターバンク金利 (3M,%)	3.13	2.94	2.90	3.03	3.47	3.86	3.83	3.81	3.79	3.76	3.73

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%)、鉱工業生産は05年以降、2000年=100基準。消費者物価は06年以降、2005年=100基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/4Q	06/1Q	2Q	3Q	06/8月	06/9月	06/10月	06/11月
GDP (yoy)	実質GDP	4.9	6.2	5.0	5.3	5.7	5.8	4.8				
	民間消費支出	5.3	5.8	4.9	5.0	5.6	5.4	5.3				
	固定資本形成	3.8	1.3	▲ 3.9	▲ 4.6	0.3	▲ 0.3	▲ 1.1				
生産	鉱工業生産(yoy)	0.0	1.0	2.2	6.1	▲ 8.1	▲ 8.4	▲ 8.5	▲ 6.3	▲ 8.3		
輸出入	貿易収支 (10億 ^{ドル})	▲ 4.2	▲ 4.4	▲ 6.2	▲ 1.3	▲ 0.3	▲ 1.6	▲ 1.2	▲ 0.6	▲ 0.2		
	輸出(yoy)	2.9	9.5	4.0	3.5	14.0	19.5	15.9	21.4	13.5	15.5	
	輸入(yoy)	3.1	8.8	7.7	12.9	6.0	10.5	9.7	15.2	▲ 0.3		
国際収支	経常収支 (10億 ^{ドル})	0.3	1.6	2.0	1.0	1.4	1.5					
	外貨準備高 (10億 ^{ドル})	14.1	14.6	17.7	17.7	20.0	20.5	21.3	21.3	21.3	22.1	22.2
物価	消費者物価(yoy)	3.5	6.0	7.7	6.9	7.3	6.9	6.1	6.3	5.7	5.4	4.7
金融	マネーサプライ (M2,yoy)	3.3	9.4	9.0	9.0	7.2	12.3	14.1	10.9	14.1		
	株価指数(総合)	1,442	1,823	2,096	2,096	2,196	2,179	2,557	2,312	2,557	2,709	2,788
	為替レート (ペソ/\$)	54.4	56.2	55.0	54.0	51.9	52.7	51.0	50.9	50.4	49.8	49.8
	為替レート (円/ペソ)	2.13	1.93	2.00	2.17	2.25	2.17	2.28	2.28	2.33	2.38	2.36
	TB (3ヵ月,%)	5.87	7.32	6.10	5.48	5.02	5.36	5.64	5.40	5.44	5.47	4.84

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%)

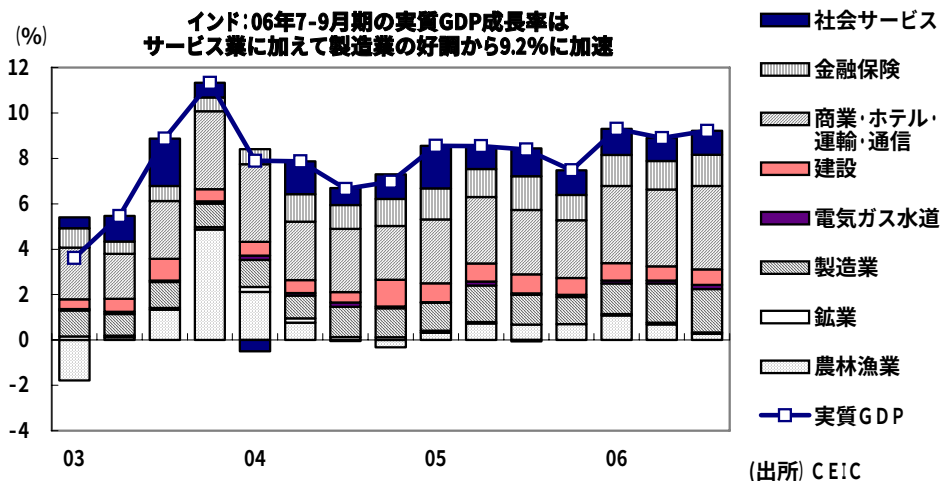
【シンガポールの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/4Q	06/1Q	2Q	3Q	06/8月	06/9月	06/10月	06/11月
GDP (yoy)	実質GDP	2.9	8.7	6.4	8.7	10.7	8.2	7.2				
	民間消費	0.9	5.9	2.5	4.0	2.2	3.2	2.2				
	総固定資本形成	▲ 3.2	10.2	▲ 1.9	15.0	10.7	11.5	10.3				
生産	鉱工業生産(yoy)	3.0	13.5	9.4	14.7	20.7	12.4	11.5	5.6	8.3	1.0	
消費	小売売上指数(yoy)	8.7	13.2	9.0	7.9	8.0	11.5	7.6				
輸出入	貿易収支 (10億 ^{ドル})	23.7	25.0	29.6	9.2	8.9	7.4	8.0	2.4	3.7	3.7	
	輸出(yoy)	27.8	24.2	15.6	18.5	23.0	22.4	19.1	10.5	12.7	2.7	
	輸入(yoy)	17.0	27.4	15.2	17.5	19.7	23.5	21.8	14.9	11.3	▲ 3.8	
国際収支	経常収支 (10億 ^{ドル})	22.3	26.3	33.3	16.0	14.7	16.0	16.4				
	外貨準備高 (10億 ^{ドル})	96	113	117	117	122	129	129	131	129	132	135
雇用	失業率(季調,%)	4.0	3.4	3.1	2.6	2.6	2.8	2.7				
物価	消費者物価(yoy)	0.5	1.7	0.5	1.1	1.4	1.2	0.7	0.7	0.4	0.4	
金融	マネーサプライ (M2,%)	8.1	6.2	6.2	6.2	8.1	11.1	12.8	12.9	12.8	14.3	
	株価指数(ストリート)	1,765	2,066	2,347	2,347	2,533	2,435	2,569	2,482	2,569	2,702	2,839
	為替レート (S\$/S)	1.742	1.690	1.665	1.688	1.628	1.590	1.579	1.576	1.579	1.579	1.557
	為替レート (円/S\$)	66.5	64.0	66.2	69.5	71.8	72.0	73.6	73.6	74.2	75.1	75.4
	インターバンク金利(3M,%)	0.74	1.05	2.29	3.02	3.40	3.48	3.50	3.50	3.44	3.50	3.44

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%)

4. インド経済の概況

- ・ 内外需の堅調を背景に景気の拡大が続いている。7～9月期の実質 GDP 成長率は商業・ホテル・運輸・通信をはじめとするサービス業、並びに製造業の高成長に牽引されて前年同期比 9.2%と前期（同 8.9%）から加速した。一方、農業部門は天候不順からコメ、雑穀、油種などの生産が前年同期を下回り、低迷した。
- ・ 他方、需要面では好調な個人消費など内需が高成長の牽引役と見られる。旺盛な消費や企業の設備投資を背景に輸入の大幅な伸びが続いており、貿易赤字は拡大傾向にある。また、11月のマネーサプライ（M3）が前年同月比 19.3%増に加速するなど景気の拡大持続の中でインフレ圧力が高まっている。こうした中で、インド準備銀行（中銀）は 12 月 8 日、インフレ予防策として預金準備率の引き上げ（12 月 23 日に 0.25%pt、来年 1 月 6 日に 0.25%pt：5.0%→5.5%）を決めた。



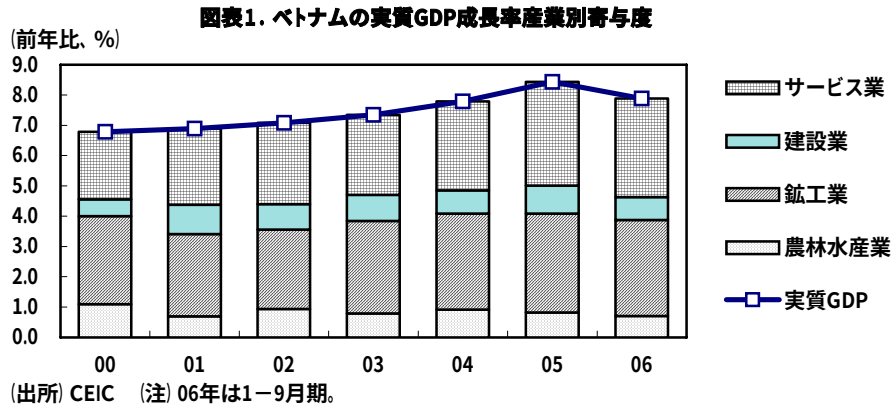
インドの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/4Q	06/1Q	2Q	3Q	06/8月	06/9月	06/10月	06/11月
GDP (yoy)	実質 GDP	7.3	7.3	8.2	7.5	9.3	8.9	9.2				
	農業生産	5.2	2.8	2.9	2.9	5.5	3.4	1.7				
	実質 GDP (年度)	8.5	7.5	8.4								
	農業生産 (年度)	10.0	0.7	3.9								
生産	鉱工業生産(yoy)	6.6	8.5	7.9	7.1	8.7	10.5	11.5	9.9	11.4	6.2	
輸出入	貿易収支 (10億 [₹])	▲ 13.7	▲ 21.7	▲ 40.8	▲ 10.1	▲ 10.2	▲ 11.8	▲ 12.9	▲ 3.5	▲ 5.3	▲ 6.2	
	輸出(yoy)	16.7	31.5	27.3	23.2	29.6	23.8	27.2	20.5	21.9	11.4	
	輸入(yoy)	26.0	36.5	40.9	26.6	29.2	19.5	20.9	11.7	24.8	36.8	
国際収支	経常収支 (10億 [₹])	8.8	0.8	▲ 8.3	▲ 3.8	1.8	▲ 6.1					
	外貨準備高 (10億 [₹])	97.6	125.2	131.0	131.0	145.1	156.0	158.3	158.9	158.3	160.7	166.1
物価	卸売物価(yoy)	5.3	6.6	4.7	4.5	4.0	4.6	5.1	5.1	5.4	5.3	5.3
	消費者物価(yoy)	3.7	3.9	4.0	4.7	5.0	6.4	6.6	6.0	6.8	7.6	
金融	マネーサプライ (M3,yoy)	13.0	12.8	17.9	17.9	21.2	18.0	18.5	19.9	18.5	18.6	19.3
	株価指数(BSE Sensitive)	5,839	6,603	9,398	9,398	11,280	10,609	12,454	11,699	12,454	12,962	13,696
	為替レート (₹°-/₹ₙ)	46.5	45.2	44.1	45.4	44.4	45.8	46.3	46.6	46.0	45.0	44.8
	為替レート (円/₹°-)	2.49	2.39	2.50	2.58	2.63	2.50	2.51	2.49	2.6	2.6	2.6
	T B3ヶ月	4.92	4.70	5.43	5.81	6.49	5.83	6.48	6.40	6.60	6.65	6.65

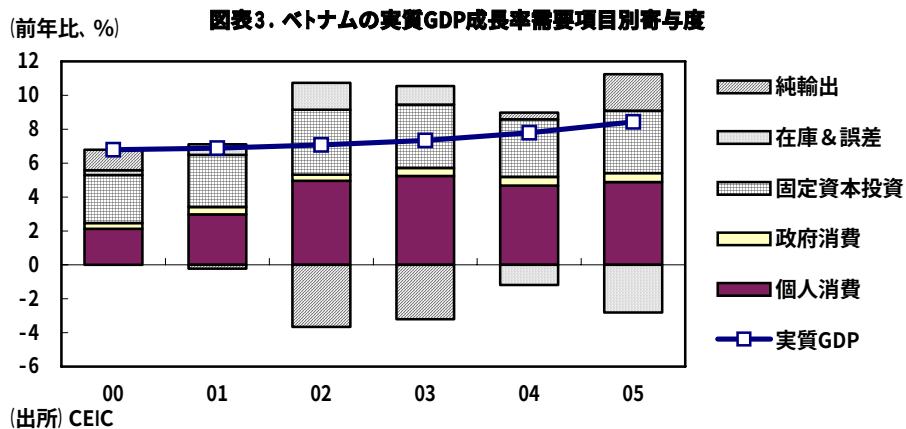
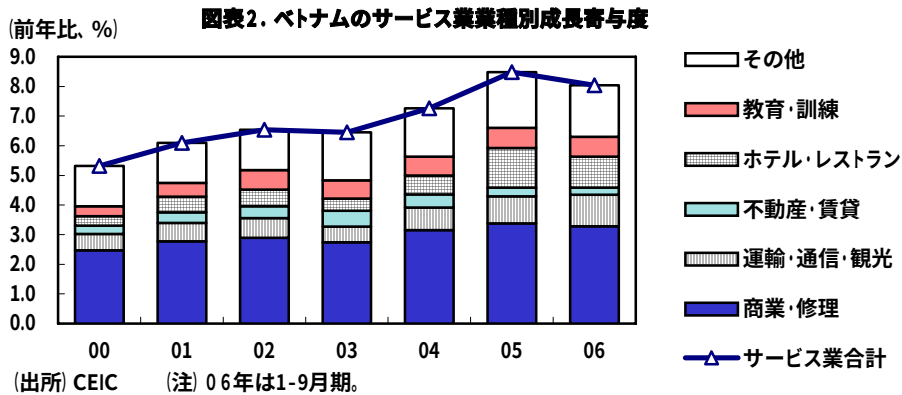
(出所) CEIC (注) yoy=前年比 (%)、年度は4月から翌年3月

5. ASEAN経済の注目点～ベトナム経済の基礎知識③

- ベトナム経済は2000年以降、成長テンポが加速。今年も昨年に引続き8%台の高成長となる見通しである。こうした高成長を牽引しているのは製造業を中心とする鉱工業であるが、近年、サービス業の成長寄与度も工業並みに高まっている（図表1）。



- サービス業の拡大を牽引しているのは消費の拡大を受けた「商業」、観光客の増加を背景とする「運輸・通信・観光」や「ホテル・レストラン」などである（図表2）。実際、需要項目別の寄与度を見ると、所得の向上などを背景に消費が高成長の牽引役となっていることがわかる（図表3）。

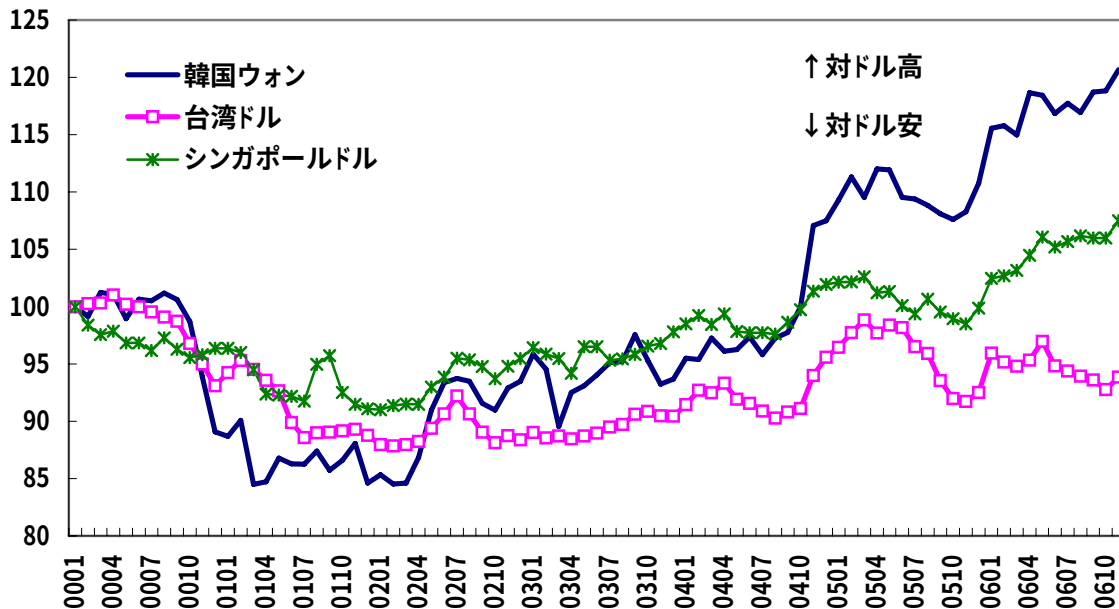


III. アジア通貨・株価動向

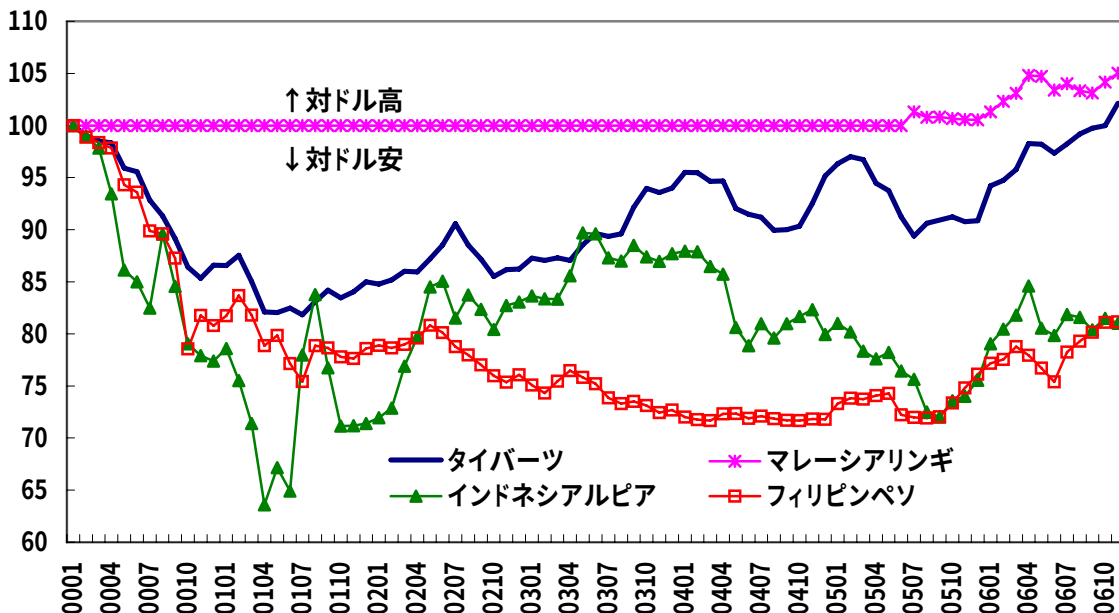
アジア通貨の対ドル相場の推移

<2000年1月=100>

(2000年1月=100)

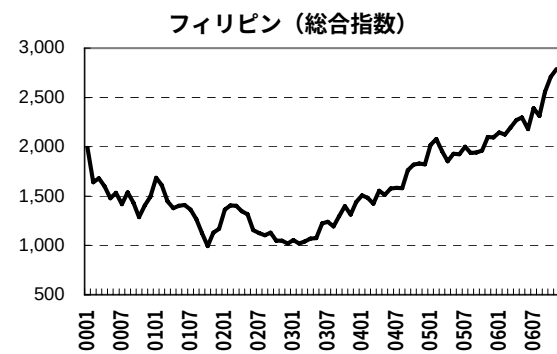
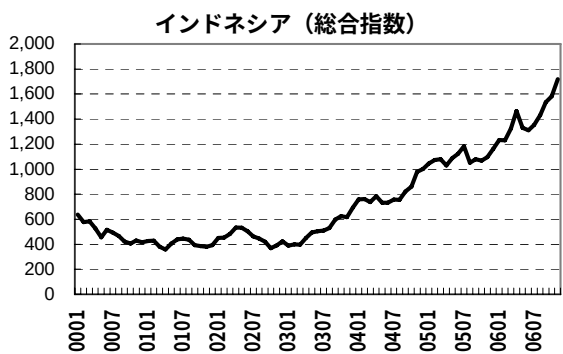
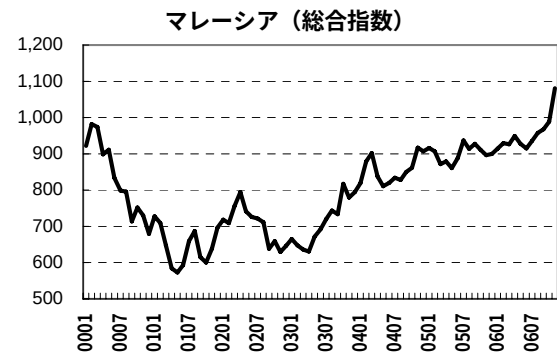
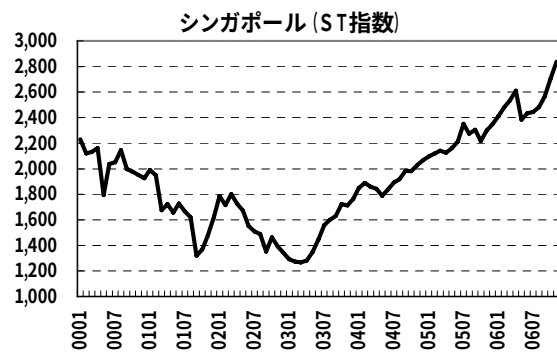
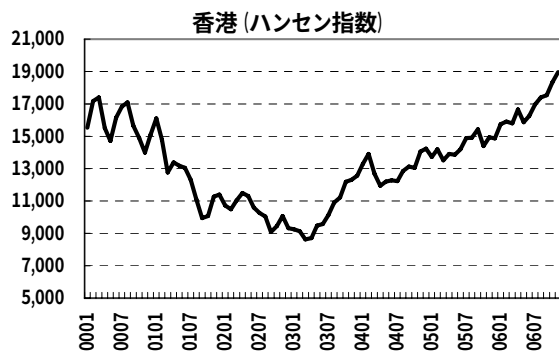
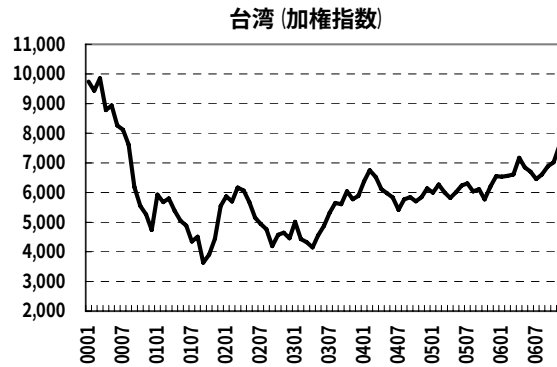
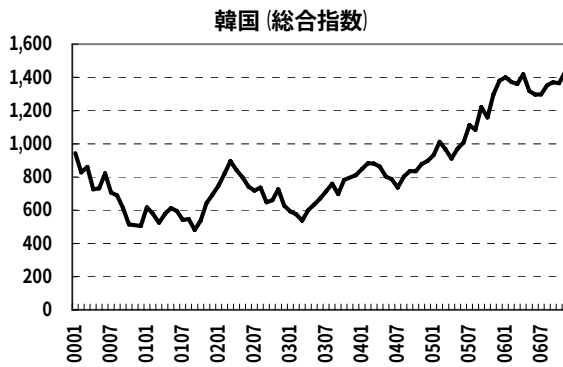


(2000年1月=100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向



(出所) CEIC

※本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。